

NO! リニア

No. 109

2019年10月8日

JR東海労働組合

リニア火災!

マスコミは、「10月7日午後4時5分ごろ、山梨リニア実験線車両基地で、車両点検中に機械から出火、約1時間20分後に消し止められた。火は作業員の衣服に燃え移り、社員2名が重傷、機器メーカー社員が軽傷負った。JR東海東京広報室は当初、『詳細を把握していない。公表するかどうか未定』としていたが、その後取材に応じ『電気回路のスイッチを入れたときに発火した』と公表」などと報じました。

報道内容からすれば相当大きな車両火災で、しかも社員が重傷を負ったのに、なぜJR東海は公表しようとしなかったのでしょうか？

リニア中央新幹線は、ルート80%がトンネルです。もし、営業列車で火災が発生したと仮定すれば、一大事です。逃げ場を失った乗客の多くが犠牲になるのは明らかです。平成3年には宮崎県の実験線で、タイヤのパンクが原因で車両が全焼する事故が起きています。

リニア建設をめぐっては、残土の汚染や処分方法、河川の枯渇、生態系などのさまざまな問題は何ら解決できていません。今回の火災は、傲慢なJR東海に対する警告と受け止めるべきです。直ちに建設を中止すべきです。

これを契機にリニア建設を中止せよ!